

- 問1 赤道付近に位置するある地域の気候について、月平均気温が年間を通して25度から30度の範囲でほぼ一定しており、さらにすべての月で降水量が200ミリメートルを超えるという統計が示されている。このような特徴を持つ気候帯の名称として、最も適切なものはどれか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. 地中海性気候 2. 砂漠気候 3. サバナ気候 4. 熱帯雨林気候
- 問2 乾燥した草原が広がる中央アジアの地域において、人々が家畜とともに広範囲を移動しながら生活を送っている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 標高の高い山地とふもとの平地の間を、季節による気温の変化に合わせ往復するため 2. 年間を通じて降水量が少なく、同じ場所では家畜が食べる牧草を確保し続けることが困難だから 3. 家畜を特定の場所に固定すると、周辺の土壌に含まれる塩分が家畜の健康を害するから 4. 特定の領土を持たないことで、周辺諸国との紛争に巻き込まれるリスクを回避するため
- 問3 ユーラシア大陸の気候帯の広がりについて、面積割合の統計的な特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 熱帯が最大の割合を占め、赤道に近い地域ほど大陸面積の大部分を構成している。 2. 温帯が約4割を占めており、大陸全体において最も一般的な気候となっている。 3. 冷帯（亜寒帯）が最大の割合を占め、次いで乾燥帯、温帯の順に面積が広い。 4. 寒帯の面積が乾燥帯の面積を上回っており、大陸の大部分が氷に覆われている。
- 問4 地中海沿岸などに広く見られる、夏季に降水量が極端に少なく乾燥し、強い日差しが照りつける気候区において、伝統的な住居に「厚い石壁」や「小さな窓」が採用されている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 森林資源が乏しいため、軽量の石材を用いて高床式の構造にするため 2. 夏季に発生するスコールによる浸水から家財を守り、強度を高めるため 3. 夏の強い日差しや熱気が室内に侵入するのを防ぎ、室内を涼しく保つため 4. 冬の激しい降雨による湿気が室内にこもるのを防ぎ、乾燥させるため
- 問5 西アフリカのトンブクトウのように、年間平均気温が29度を超え、年間降水量が200mmに満たない極めて乾燥した地域で見られる、伝統的な住居の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 大量の雨を流しやすくするため、屋根の傾斜を非常に急にしている。 2. 移動がしやすいように、動物の毛皮や布で作られた組み立て式のテントを用いている。 3. 湿気を防ぐために、床を地面から高くした高床式の構造を用いている。 4. 強い日差しを遮り、入手しやすい泥を利用した日干しレンガで壁を厚く作っている。
- 問6 世界の主要な農作物の統計において、生産量では中国（17.6%）が首位で、これに次いでインドなどの人口の多い国が上位を占めている一方、輸出量ではロシア（13.8%）が首位となり、アメリカ合衆国やカナダが上位に並んでいる作物として最も適切なものはどれですか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 大豆 2. 小麦 3. 米 4. とうもろこし
- 問7 地中海沿岸のギリシャなどに見られる、石造りで壁が厚く、窓を小さく設計した伝統的な住居について、このような構造になっている理由として最も適切なものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 一年を通じて降る激しい雨や湿気が室内にこもるのを防ぐため 2. 季節風によって運ばれる大量の砂が室内に侵入するを防ぐため 3. 冬の厳しい寒さと積雪から家を守り、室内の暖房効率を高めるため 4. 夏の強い日差しによる熱が室内に伝わるのを防ぎ、室内を涼しく保つため
- 問8 北アフリカなどの乾燥帯において、木材がほとんど育たない自然環境に適応するために普及した、伝統的な住居の建築材料と構造上の工夫の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 草を編み込んだ屋根を用い、雨水を効率よく貯める構造にする 2. 日干しレンガを用い、外からの熱風を防ぐために窓を小さくする 3. 石材を積み上げ、風通しを良くするために窓を大きくする 4. 土を盛り上げた高床にし、地面からの熱を逃がす構造にする
- 問9 東南アジアなどから多くの観光客が訪れる日本の観光地では、宗教上の理由から豚肉を食べることが禁じられている人々に配慮し、豚のイラストに「!」の警告マークを添え、英語で「PORK INSIDE（豚肉が入っています）」と明記した表示を掲示することがあります。このような配慮が主に対象としているのは、どの宗教の信仰者ですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 仏教 2. ヒンドゥー教 3. イスラム教 4. キリスト教
- 問10 ユーラシア大陸北部の気候と植生の関係について、冷帯（亜寒帯）と寒帯の違いを説明した文として正しいものはどれですか。なお、どちらの気候区も年間の降水量は比較的小さいものとします。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 冷帯は永久凍土が存在しないため大きな樹木が育つが、寒帯は地下に永久凍土があるため草木しか育たない。 2. 冷帯は夏に気温が上がるためタイガと呼ばれる針葉樹林が広がるが、寒帯は夏も気温が低いため樹木が育たない。 3. 冷帯は冬の気温が氷点下にならないため樹木が育つが、寒帯は一年中氷点下のため地衣類しか育たない。 4. 冷帯は降水量が多いため広葉樹の森林ができるが、寒帯は乾燥が激しいため樹木が育たない。
- 問11 南アジアのインド亜大陸に位置する国で、人口の約80%が信仰している宗教について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 仏教と呼ばれ、かつての身分制度を否定し、すべての人が平等に救われることを説いている。 2. キリスト教と呼ばれ、欧米文化の影響を強く受け、日曜日に教会へ通う習慣が定着している。 3. ヒンドゥー教と呼ばれ、牛を神聖な動物として崇めるため、牛肉を食べない習慣がある。 4. イスラム教と呼ばれ、経典コーランに基づき、豚肉を食べることが禁じられている。
- 問12 世界の諸地域において、歴史的に他国によって支配された地域のことを「植民地」と呼びます。かつてイギリスの植民地であった地域で見られる、言語や文化的な特徴についての説明として正しいものはどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. キリスト教以外の宗教を信仰することが法律で厳しく禁止されている 2. 支配の影響により、現在も英語を公用語として使用している地域が多い 3. 支配国との対立を避けるため、独自の伝統言語のみを公用語としている 4. 支配が終わった直後に、旗のデザインから他国の要素をすべて排除した
- 問13 ヨーロッパ北西部の高緯度地域が、同緯度の他の地域に比べて冬でも比較的温暖である理由として、大西洋を流れる暖流（北大西洋海流）の影響とともに挙げられる、海上の暖かな空気を陸地へ運んでくる風は何か。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 北極側から吹く冷たい極東風 2. 南東方向から吹く季節風 3. 中緯度帯を吹く偏西風 4. 熱帯地方から吹く貿易風

答え合わせ・解説

問1	答え 4 熱帯雨林気候	赤道直下の地域では、一年を通じて太陽の光を垂直に近い角度で受けるため、常に高温となります。この強い日射によって空気が暖められて上昇気流が発生し、連日のように「スコール」と呼ばれる激しい雨が降ります。その結果、気温の年較差（一年間の気温差）が小さく、かつ年中多雨という熱帯雨林気候特有の条件が成立します。
問2	答え 2 年間を通じて降水量が少なく、同じ場所では家畜が食べる牧草を確保し続けることが困難だから	乾燥帯では樹木が育たないほど雨が少なく、牧草の成長も限定的です。一箇所に留まって家畜を飼育するとすぐに草が食べ尽くされてしまうため、自然環境に合わせて移動を繰り返す「遊牧」が行われています。なお、選択肢にある「標高の高い場所とふもとを往復する」形態は、ヨーロッパのアルプス山脈などで見られる「移牧」の説明です。
問3	答え 3 冷帯（亜寒帯）が最大の割合を占め、次いで乾燥帯、温帯の順に面積が広い。	ユーラシア大陸の気候構成は、北部の広大な地域を占める冷帯（亜寒帯）が約39.2%と突出して多く、次いで内陸の砂漠やステップを含む乾燥帯が約26.1%、温帯が約17.5%という構成になっています。東南アジアや南アジアの一部に見られる熱帯は約7.4%であり、大陸全体で見れば決して大きな割合ではありません。
問4	答え 3 夏の強い日差しや熱気が室内に侵入するのを防ぎ、室内を涼しく保つため	地中海性気候の地域では、夏季に乾燥し強い日差しが照りつけます。石造りの伝統的な建物において、厚い壁は外からの熱を遮断する断熱材の役割を果たし、窓を小さくすることで直射日光が室内に入るのを最小限に抑えています。これにより、厳しい夏の暑さの中でも室内を比較的涼しく保つことができます。
問5	答え 4 強い日差しを遮り、入手しやすい泥を利用した日干しレンガで壁を厚く作っている。	乾燥した砂漠気候の地域では、建材となる樹木が育たないため、身近にある土を固めた「日干しレンガ」が主な材料となります。厚い泥の壁は、昼間の強烈な熱気が室内に伝わるのを遅らせ、夜間の冷え込みを和らげる効果があります。高床式や急傾斜の屋根は、降水量の多い地域で見られる工夫です。
問6	答え 2 小麦	小麦の生産量は、主食としての需要が高い中国やインドが世界の上位を占めていますが、これらの国は国内での消費量が多いため、輸出に回る割合は低くなります。対して、ロシア、アメリカ合衆国、カナダなどは広大な農地で商業的な農業を行っており、国内消費を上回る余剰分を世界市場へ輸出しているため、輸出統計ではこれらの国が上位に現れます。
問7	答え 4 夏の強い日差しによる熱が室内に伝わるのを防ぎ、室内を涼しく保つため	地中海性気候の地域では、夏は乾燥して晴天の日が多く、非常に強い日差しが照りつけます。厚い石の壁や小さな窓、木製のブラインドなどは、外の熱気を遮断し、室温の上昇を抑えるための生活の知恵です。冬の寒さ対策や雨・砂嵐対策よりも、夏の気候特性への対応が優先されています。
問8	答え 2 日干しレンガを用い、外からの熱風を防ぐために窓を小さくする	樹木が育ちにくい乾燥帯では、入手しやすい土をこねて太陽光で乾燥させた「日干しレンガ」が主要な建材として利用されます。また、砂漠地帯特有の強い日差しや熱風が室内に侵入するのを防ぎ、内部の温度上昇を抑えるために、窓を極めて小さく設計するのが特徴です。
問9	答え 3 イスラム教	世界の諸地域における生活文化は、宗教と密接に関わっています。イスラム教では、教典などの教えに基づき、豚肉を食べることは禁忌（タブー）とされています。そのため、観光地や飲食店では、料理に豚肉が含まれているかどうかを分かりやすく表示することが、多文化共生の観点からも重要な配慮となります。なお、ヒンドゥー教では牛が神聖な動物として扱われ、牛肉を食べることが避けられる傾向にあります。
問10	答え 2 冷帯は夏に気温が上がるためタイガと呼ばれる針葉樹林が広がるが、寒帯は夏も気温が低いいため樹木が育たない。	冷帯と寒帯の最も重要な違いは「樹木が成育できるかどうか」にあります。冷帯（亜寒帯）は冬の寒さは非常に厳しいですが、短い夏の間に気温が上昇するため、タイガなどの針葉樹林が形成されます。対して寒帯（特にツンドラ気候）では、最も暖かい月の平均気温でも10度未満であり、樹木が育つ条件を満たしていません。また、冷帯においても地中に永久凍土が見られる地域は多いため、凍土の有無が決定的な違いではありません。
問11	答え 3 ヒンドゥー教と呼ばれ、牛を神聖な動物として崇めるため、牛肉を食べない習慣がある。	インドで最も多くの人々に信仰されている宗教はヒンドゥー教です。この宗教には特有の食習慣があり、牛を神の使いや神聖な動物として大切にするため、牛肉を食べることはタブーとされています。一方で、選択肢にある豚肉を禁じているのはイスラム教の特徴です。
問12	答え 2 支配の影響により、現在も英語を公用語として使用している地域が多い	イギリスはかつて世界各地に広大な植民地を展開しました。その結果、オーストラリアや北米、アフリカの一部など、かつて植民地であった多くの地域で英語が公用語として普及しました。また、オーストラリアの国旗やハワイの州旗のように、歴史的なつながりを示す意匠としてイギリスの国旗（ユニオンジャック）がデザインの一部に残されている事例も存在します。
問13	答え 3 中緯度帯を吹く偏西風	ヨーロッパの西側には、低緯度から暖かい水を運ぶ暖流の北大西洋海流が流れています。この暖流によって温められた海上の空気が、中緯度帯の上空を西から東へ吹く偏西風によって陸地側へ運ばれるため、ヨーロッパ北西部は高緯度であっても冬の寒さが和らぎ、西岸海洋性気候となります。